

Title	B. Ia. V'adimirtsov. Sravnitel'naia grammatika mongol'skogo pis'mennogo iazyka i khalkhaskogo narechiia. Vvedenie i fonetika.
Sub Title	ペ・ヤ・ヴラディミルツォフ「蒙古文語とカルカ方言との比較文典。」
Author	小島, 武男(Kojima, Takeo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1931
Jtitle	史学 Vol.10, No.2 (1931. 6) ,p.176(334)- 176(334)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19310600-0176

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

ヤクトト族に關する文献一般 三、ヤクトト族研究家の傳記 四、信仰 五、俗話 六、言語 七、人類學 八、歴史 九、統計 十、醫藥、疾病 以上の如く文献を分類して居る。只遺憾とする處は氏は本書に於て著者順索引及び地理的分類を付さなかつたこと、ロシヤ以外の文献に關しては必ずしも完璧と云ひ得ないこと及び分類に於て數個所首肯し難き處があることである。(小島武男)

B. Ia. V'adimirtsov. Sravnitel'naia gram-
matika mongol'skogo pis'mennogo iazyka i
kalkaskogo narech'ia. Vvedenie i fonetika.

ベ・ヤ・ウラディミルツォフ「蒙古文語と
カルカ方言との比較文典。」

ウ氏は現今ロシヤに於ける唯一の蒙古語學者で本書は氏の近業であつて、内容は主として蒙古語概論及び音韻のみを述べて居る。序論に於て氏は、既に西歐の學徒シユニミット、ポブロウニコフ、コヴァレウスキー、コトヴィツチの諸氏によつて蒙古語文典は屢々公にされて居るが其等は單にカルカ方言を扱つたもののみである」と説いて居る。氏は蒙古語發達史の項に於て古代、中世、過渡期、現今の諸時代に分ち更に其の時代に於て他民族との交渉によつて影響した處を詳細に説明して居り又現今各地に行はれて居る方言を精確に分類して居る等未だ此くの如き大著を見ないのである。又金石文、古文書を總括的に時代によつて分類し、其等に對して翻譯、研究論文等の文献を付して居り、音韻の部に於ては

單にカルカ方言との比較のみならず、四圍の諸民族の言語との音韻關係を説き、音韻史的にはウイグル、古蒙古語又はサンスクリット、ソグドの諸語と比較して居る。音韻の説明については全てに首肯し難いが(例へば t と d の混用の如き)材料の乏しいウイグル、ソグド語との比較研究の如き一朝一夕になしうるものではないと思ふ、この點氏の勞を大いに多とすべきであらう。(小島武男)

彙 報

日吉臺古墳發掘豫備報告

昭和六年五月三十一日(日曜日)晴。

午前八時東横線日吉驛前集合、塾長以下教員學生三十二名、他に塾員等二三の來會者あり。

發掘せんとする第一號古墳は日吉驛より東北方約二丁、慶應義塾敷地内なる丘上に所在する高さ約二米突、東西直徑約十三米突、南北直徑約十二米、周圍に約一米突内外の高さある中段を有する圓墳にして、例へば恰かも鏡餅を見るが如き形を呈せり。墳上には楮、棕櫚其他笹類雜草の繁茂を見る。

午前八時三十分頃より人夫二名を督して發掘に不便なる雜木雜草の除去作業を始む。次で愈々東方より西方へ向け約一米突の幅を保ちつゝ古墳に鉄を入る、學生も亦各々シャベル、スコップの類を手之を手傳ふ。掘ること一時間餘にして赤土(墟母層)現は